

令和2年 2月市長定例記者会見

日 時：令和2年2月4日（火） 午前11時～

場 所：射水市役所会議室401

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞、読売新聞、毎日新聞、
北日本放送、庄東タイムス、ホットライン KOSUGI

当局出席者：市長、企画管理部長、企画管理部次長、総務課長、未来創造課長、
地域福祉課長、港湾・観光課長、人事課長

○質疑応答の概要

Q 1. JR の乗り継ぎ割引について、高岡市や富山市では補助について方針が示されたが射水市の方針、また、対象となる方の人数が分かれば伺いたい。

A 1. 射水市としては検討している段階であり明言は控えたい。なお、対象人数については後ほど担当から報告するが、対象者は、小杉駅・越中大門駅から氷見線の越中中川駅、伏木方面、また、城端線を利用して戸出方面へ利用している方と認識している。

Q 2. 新型コロナウイルスについて、富山新港において、船員が発症した場合の対策と新型コロナウイルスへの危機感について伺いたい。

A 2. 新型コロナウイルスは非常に強い感染力がある。県では対策会議が開かれたが、その内容を厚生センターなど通じて、市で情報共有を行った。また、関係各課での対策連絡会議を開き、日頃からの取組や発症した方への対応を確認した。現状としては、厚生センター射水支所と連携しながら対応する。疑わしい症例が出た場合は、まず、高岡厚生センター射水支所と連携を取りながら、対応できる医療機関などで検査・治療を受けてもらうことになる。なお、富山新港に寄港している船の乗組員からは、現状そのような報告等は聞いていない。また、船の乗組員は自由に市内を動けるわけではないので、そこから感染が広がるリスクは低いと考える。港湾関係者などと今一度対応をしっかりと確認したい。

Q 3. 庁舎建設に関する訴訟について問う。見積書に「一式」といった表記をする手法は日常的に行われているのか。

A 3. 見積りの内容において、工事によって内容は異なると思うが、一般的に数量等が確定できるものは、確定した数量で見積徴収するということになる。しかし、複合的な内容を含む場合は、個々に数量を示さず「一式」という形で表記する。「一式」という形について、そこを具体的に指定するケースもあるが、見積書を提出していただく際に、新たな技術や施工の方法などより良い提案があれば、取り入れていくというのが一般的である。

Q 4. このよう手法は杜撰ではないという認識か。

A 4. 「一式」という見積りの取り方が杜撰とは考えていない。細かく項目を出さずにそれらを取りまとめて「一式」と出すケースがほとんどである。

Q 5. このたびの裁判などの住民監査請求をきっかけに何か市の手続きにおいて改善されたり改めたりされた点があれば教えていただきたい。

A 5. 事務内容や業務の中身については、常に行政として確実な手続きを行っているため、足りないものなどは、常に見直しをしている。入札、見積等々については、民間業者に協力をお願いする。なお、見積書を民間業者に出していただく場合には、基本的には、内部の資料として使わせていただいている。隠れて何かしているのかと心配されるかと思うが、そういったことではない。

Q 6. 裁判では、全員協議会の議会に対し適切な額を説明してないのではとの指摘があった。資料を拝見する限り議会軽視ではないかと感じたが、この点についてご見解があれば教えていただきたい。

A 6. 庁舎建設は大きなプロジェクトということもあり、内容を精査し、見積りをとって、競争入札を行った。内容については、積算、見積りの段階で見えなかったものが、実際に施工を行う中で足りない部分や変更が必要な部分が出てくることは、大きな事業では避けられないことと考える。議会の報告との内容に差異があることについては、決して意図的に異なる情報を出したのではなく、常に内容を見直す必要がある状況の中で、基礎の段階として報告したということでご理解いただきたい。

Q 7. 知事選について、射水市として県連の施策で実現して欲しいことがあれば教えていただきたい。また、城端・氷見線の LRT 化について、射水市として間接的でも影響が想定されそうであれば伺いたい。

A 7. 県に対する市からの要望としては、毎年「市の重点要望」として提出している。ハード整備は、「庄川の河口付近の新庄川橋の架け替え」があり、万葉線の庄川橋梁とあわせて要望している。また、港については「バルク貨物を扱う中央ふ頭の再編・大水深化の事業」やクルーズが係留する「海王岸壁の大水深化・岸壁の延伸」について要望している。また、子育て支援や教育の充実なども要望している。LRT 化への影響については、射水市としては動向を見守りたい。高岡市とは万葉線の第 3 セクターとして関わっているため、城端線・氷見線の LRT 化については、少なからず万葉線と比較してしまう。できることなら万葉線も中に入れていただき相互乗り入れなどの可能性を検討してほしい。

Q 8. 万葉線も LRT 化を検討してほしいということか伺いたい。

A 8. 現在、万葉線は高岡駅の中で乗り入れをしているが、万葉線の高岡駅の乗り口の構造は、構内にも入れることができると聞いている。氷見線・城端線の LRT 化はこれからのことであるが、万葉線も含めた相互乗り入れができるのか機会があれば検討してほしい。

Q 9. 当初は沿線 4 自治体が協議に入るが、万葉線も関わるとなると将来的に射水市も負担を求められることもあると思われる。流れ次第では、射水市も協議に参画していきたいと考えているのか伺いたい。

A 9. 検討の方向や内容にもよるが、仮に声がかかり、万葉線も含めて一体的な運営・経営を行うといったような協議であれば中に入らせてもらい、射水市としてどこまで関わっていけるのかも含めて検討していきたい。